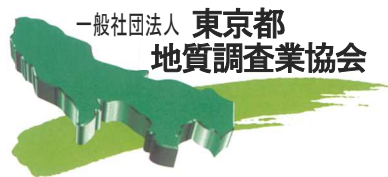


東地協ニュース 2024.6 第45号



協会活動の羅針盤

(一社) 東京都地質調査業協会

技術委員長 川井 康右

(川崎地質(株)) 企画・技術本部

再生可能エネルギープロジェクト室 室長)

私儀、平成 30 年度に (一社) 東京都地質調査業協会の技術委員長を拝命し、会員企業の皆様にご指導いただきながら令和 6 年度で 7 年目を迎えました。

一昨年の災害対策セミナー in 東京において、当協会の外部理事で東京都立大学名誉教授の山崎晴雄先生に「東京の地形と災害」と題してご講演いただきました。その中で、災害から命を守るためには、国民一人一人が「危機に際して判断・行動できるようにすることが重要」であり、現状は「国民の地学リテラシーが欠如している」と熱く述べられていたことが印象に残っています。

“リテラシー”とは、「ある特定分野の事象や情報を正しく理解・分析・整理し、それを自分の言葉で表現したり、判断する能力」と理解しています。災害が起こるたびにその重要性は指摘されていますが、喉元過ぎればなんとやらで、すぐに熱が冷めてしまうのが世の常です。山崎先生はご講演の中で、地学リテラシーを身につけてもらうためには、自然のメカニズムを理解してもらう「社会教育」が重要であるとも述べられておりました。「社会教育」という言葉は、我々地質調査業協会が果たすべき役割・方向性を考えるうえで重要な「羅針盤」になり得ると考えています。より多くの都民の皆様が地学リテラシーを身につけていただくため、自然災害に関する様々な啓もう活動により社会教育を進めることが当協会の大きな役割であると感じます。

当協会では、毎年行われる東京都の総合防災訓練に参加し、ブースに来場いただいた方々を相手に地形や地質のリスクについて解説する「地盤検索」、地形・地質を切り口に様々なテーマについて技術委員が実際に足を運んで取材・執筆する「技術ノート」の刊行、地下水や土壤汚染に関する情報の協会 HP へのアップや講習会の実施など、様々な啓もう活動を行っておりますが、これらの活動は会員企業の皆様のご支援無くして結実しません。今後も一層のご協力をお願いするものです。

あまり大風呂敷を広げると、技術委員各位からの悲鳴が聞こえてきそうですので、最後に当協会の約款にある「構成と目的」を掲げ、私の巻頭言とさせていただきます。

「構成と目的」

協会は、東京都内に事務所を有する地質調査業を営む法人をもって構成し、都民生活における安全の向上や環境の保全を図るため、地質調査の普及および啓発並びに技術の向上に注力する。併せて、地質調査業者の経営の近代化に関する事業などを促進し、もって社会福祉に寄与することを目的とする。

● 会議報告等

○ 第 40 回定時総会

5 月 13 日(月)、エッサム神田ホール 1 号館 6 階中会議室 1 にて、第 40 回定時総会が開催された。会員数 28 社に対し、24 社が出席(うち委任状提出 13 社)となり、全議案が承認された。

< 議 案 >

- (1) 令和 5 年度事業報告承認の件
- (2) 令和 5 年度決算報告承認の件
令和 5 年度監査報告
- (3) 役員改選の件

協会理事の任期満了に伴う改選が行われた。改選の結果、以下の通り決定承認された。

また、理事会において、会長、副会長の互選及び各委員会委員長が決定された。

理 事 (10 名)

任期: 2 年 (令和 6~7 年度)

<内部理事>

会 長	網代 稔 (㈱ダイエーコンサルタンツ)
副会長	長谷川 俊彦 (大和探査技術㈱)
専務理事	岡部 康典 (協会事務局)
技術委員長	川井 康右 (川崎地質㈱)
総務広報委員長	蓑輪 淳 (千葉エンジニアリング㈱)

<外部理事>

山崎 晴雄	(東京都立大学 名誉教授)
若松 加寿江	(関東学院大学 工学総合研究所)
桑原 文夫	(パイルフォーラム㈱ 取締役 副社長)
塚本 良道	(東京理科大学 創域理工学部 教授)
片山 浩明	(東邦地下工機㈱ 企画開発本部)

監 事 (2 名)

任期: 2 年 (令和 6~7 年度)

監 事	倉持 知二(㈱建設地盤)
監 事	鈴木 明夫(㈱セントラル技研)

<報告事項>

- (1) 令和 6 年度事業計画の報告
- (2) 令和 6 年度予算の報告



○ 理 事 会

1. 令和 5 年度 第 6 回

日時: 令和 6 年 2 月 16 日 (金)

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 令和 5 年度決算, 令和 6 年度事業計画・予算, 定時総会について
- (3) 東京都都市整備局「災害時等における設計・測量・地質調査等の応急対策業務に関する細目協定」
- (4) 東京都からの依頼事項
- (5) 総務・広報委員会関係
 - 1) 委員会報告(12 月 14 日・1 月 23 日)
- (6) 技術委員会関係
 - 1) 委員会報告(12 月 20 日)

2. 令和6年度 第1回

日時：令和6年4月23日（火）

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 令和6年度 第2回理事会～第40回定時総会について
- (3) 都議会立憲民主党「予算要望に対する回答」について
- (4) 東京都技術支援・人材育成センター「災害対策科 実務研修」について
- (5) 令和6年度 東京都総合防災訓練について
- (6) 総務・広報委員会関係
 - 1) 委員会報告(3月12日)
- (7) 技術委員会関係
 - 1) 委員会報告(4月17日)

3. 令和6年度 第2回

日時：令和6年5月13日（月）

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 第40回定時総会の議事進行について
- (3) 新規会員入会について
- (4) 総務・広報委員会関係
 - 1) 委員会報告(4月24日)

4. 次回理事会開催予定

日時：令和6年7月18日（木）



☆ トピックス(協会行事紹介)



○ ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会（春期）

※ 協力：東邦地下工機(株)

後援：(一社) 全国さく井協会、

(一社) 日本アンカー協会

(一社) 全国特定法面保護協会

(一社) 日本グラウト協会

(一社) 関東地質調査業協会

[日 時] 令和6年4月5日（金），6日（土）

[場 所] <学科> エッサム神田ホール（東京都千代田区）

<実技> 東邦地下工機(株)（東京都品川区）

[講 師] 東邦地下工機(株) 企画開発本部

片山 浩明氏（協会外部理事）

[内 容]

<学科> ① ボーリングマシンに関する知識

「基礎知識・構造」「運転及び点検・整備」

② ボーリングマシンの運転に必要な

一般事項に関する知識「施工・力学と電気」

③ 関連法令「関係法令・災害事例」

<実技> 運転及び安全のため合図、運転実技

[参加者] 54名



■ 会員(正会員・賛助会員) 動静



(1) 会員の入会

[正会員]

- ・(株) 京北地盤コンサルタント

代表者：代表取締役 木内 直人 氏

住 所：〒204-0002 東京都清瀬市旭が丘2-338

T E L：042-494-3391

F A X：042-495-0395

※令和6年 5月入会

(2) 代表者変更

- ・(株) 建設地盤

[新] 代表取締役社長 後藤 和宏 氏

[旧] 代表取締役社長 倉持 知二 氏

(3) 代表者・住所変更

- ・(有) エム・システム

[新] 黒澤 仁彦

[旧] 黒澤 仁悦

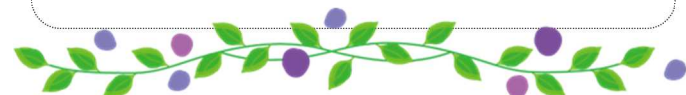
[新住所]

〒134-0087 東京都江戸川区清新町1-1-17-104

(TEL) 03-5676-0588 (変更なし)

(FAX) 03-5676-0895 (変更なし)

住所・代表者・会社名等の変更がございましたら、
お手数ですが協会事務局までご連絡をお願い致します。
(協会事務局 TEL 03-3252-2963)

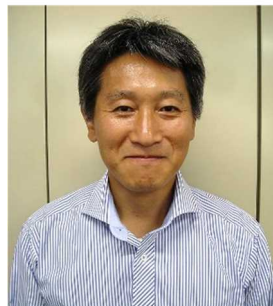


▲ 行事日程

日 程	行事名・内容等
6月21日(金)	(全地連) 道路防災点検講習会
7月3日(水)	(東京) 地盤環境技術講習会
7月10日(水)	(関東) 経営講演会 (MPC 共催)
7月13日(土)	(全地連) 地質調査技士 資格検定試験
7月19日(金)	(関東) 災害復旧事業技術講習会

8月予定	(関東・東京) そなエリア東京 防災イベント
9月1日(日)	(関東・東京) 東京都・板橋区合同総合防災訓練
9月26日(木) 9月27日(金)	(全地連) 技術フォーラム 2024・新潟
9月30日(月)	(東京) 第6回 災害対策セミナー in 東京
10月予定	(東京) ボーリングマシン安全衛生 特別教育講習会 (秋期)
11月1日(金)	(全地連) 道路防災点検講習会

◆ 新任委員紹介



株式会社 地盤調査事務所

営業部次長 大野 弥治 (57 歳)

令和6年5月から総務広報委員会に参加させて頂くことになりました。よろしくおねがいし

ます。普段は民間営業を担当し

ており、官庁の積算については一から勉強している状況です。勤務中、座ったままよく気絶していることがあり、PC画面上、改行が別次元に及ぶこともしばしばです。

会社は立川の次の日野市にあります。中央高速道路で渋滞のポイントである、「日野バス停」のすぐ下みたいなところです。高速のコンクリート橋桁の下は、大型車両が通過の度にドンドン鳴るのですが、そんな桁下＝暗い天井部分で毎年数家族のツバメが巣作りし、振動のなかで子育てしています。周りは縦横に水路があり、もともと梨畑が広がっていたところに中小の工場が点在しています。この10年程で、その梨畑も工場も、半分以上が住宅街に変わってきました。



伊豆の海

特技は水泳です。しかし泳ぐことがあまり好きではありません

ません。特にプールで泳ぐと、どんよりと疲れてしまいます。たまに海で泳いだり遊んだりした時の方が、疲れても爽やかな感じがします。海の成分が身体に影響するのでしょうか。不思議なもので、たくさんの方が海水浴に行くのは、何か直感が働くのかもかもしれません。私は比較的近い江ノ島によく行きますが、千葉の館山や、伊豆下田の海にも行きます。

波打ち際の砂のうえに素足で立ってみると、足のうらで砂の粒度を感じたり、水が引くのを感じたりするのも気持ちのよいものです。

さて、前任の小野から後を引き継ぐことになりましたが、ほとんど若返りもせず、私では大幅なレベルダウンは否めません。小野が目指していたところは、技術担当の若い方が会社と会社の垣根を越えて、気軽に技術屋さん同士で相談できるような環境であったと思います。これは協会のよいところであり、この業界のよいところでもあります。私もそういう雰囲気を、つぎの世代の方々にお伝えできればと考えております。今後ともご指導いただきたく重ねてお願い申し上げます。



株式会社地盤試験所
営業部 課長 根岸 利昌 (53 歳)

令和6年4月より総務広報委員の
新任として総務部会に参加させてい
ただくことになりました。

株式会社地盤試験所には、1994年4月に新卒として入社、技術部にて杭の载荷試験などを経験し、地質調査部ではボーリング調査、土壌汚染調査にかかわる井戸設置工事や電気式コーン貫入試験などに多く係ってきました。昨年度の4月から営業部に配属され現在に至っております。

幼少期は5歳から9歳まで父親の仕事の関係でブラジルのリオデジャネイロに住んでおり、当時はポルトガル語を話すことができましたが現在ではすっかり忘れてしまっております。リオのカーニバルを観に行ったことなどをよく覚えています。暑い地域にいたので水泳を習っており、小学校、中学校まで続けていました。今でもプールや海へ行

ったときに泳ぐ機会があれば楽しんで泳いでいます。

現在の趣味は、旅行です。コロナ禍以降は海外に行く機会が得られてないのですが、以前はよく正月休みを利用してマレーシアなどに行っていました。島などで年越しのイベントであるガラディナーに参加したのがいい思い出です。現地の人と言葉の壁はありますが、手振り身振りでなんとかなるものです。また海辺やホテルのプールでのんびりしている時間も大好きです。

総務部会では新しいことにチャレンジをしていき、いろいろなことに取り組み成長していければと思っております。皆様どうぞよろしくお願いいたします。



赤坂見附駅から徒歩5分、駅前の賑やかな通りを抜けたちょっと奥に位置する「いざかや山賊（以下、山賊）」をご紹介します。

九州料理がウリの居酒屋で、その味と雰囲気にいつも心を奪われます。とりあえず料理が全部おいしい！！店内は昭和の懐かしさを感じさせるレトロな内装で、金曜夜はほぼ満席（42席）です。おじさんたちがガヤガヤしている雑多な雰囲気がいい感じです。

そしてカウンター席でしっぽりな1人飲みにもとてもいい！！



ここに来ると必ず注文してしまうおすすめ料理が「もつ鍋」です。

ぷりぷりのもつとたっぷりキャベツのハーモニーが最

高で、なぜか「みそ」と「しょうゆ」2つ頼んでしまいます。特に、締めめちゃんぽん麺は絶品です。スープの旨味をたっぷり吸い込んだ麺は、一度食べると病みつきですよ。

また、「山賊餃子」や「からし蓮根」も超おすすめです。餃子はカリッとした羽とジューシーな具材が絶妙なバランスで、からし蓮根はシャキシャキとした食感とからしの辛さが後を引き、箸が止まりません。

さらに、山賊のもう一つの魅力は、私の知人の彼女が店長を務めていて、笑顔と細かい気配りが◎。金曜夜に「からし蓮根」「餃子」をつまみに生ビールを飲みつつ、お気に入り漫画を読むのが至福です!! 赤坂で美味しい料理とだらだら素敵な時間を過ごしたい方は、ぜひ一度足を運んでみてください。(H.T)



店名: いざかや山賊 (42 席)

住所: 東京都港区赤坂 4-2-8 カランドリエビル B1
(赤坂見附駅より徒歩 5 分)

営業時間: 平日 15:30 - 01:00 土日 15:00 - 01:00

食べログ点数: 3.17 (7 件の口コミあり)

客単価: 4000 円

URL: <https://tabelog.com/tokyo/A1308/A130801/13058744/>

もつ鍋 990 円/人
写真は 2 人前



締めはちゃんぽん麺
で!! やばい!!

山賊餃子 550 円



・編集後記・



梅雨の季節が到来しました。今年は全国的に例年より梅雨入りが遅れているようです。

梅雨は湿度が高く洗濯物が乾きにくいなど、少々鬱陶しい面もありますが、どこかノスタルジックでロマンチックな雰囲気が漂う日本の風物詩でもあります。

それはこの時期の雨が、「時に雨音も耳に心地よく響き、紫陽花や新緑が心を和ませてくれる」、そんな静かで穏やかなイメージがあるからです。そういえば「雨音はショパンの調べ」なんていう楽曲も流行りましたね。

ところが最近では、ゲリラ豪雨や線状降水帯などの異常気象が増加し、洪水や斜面崩壊により私たちの生活を脅かす事象も多発しています。そのような変化の中で、社会インフラを支える安全性を確保するため、地質調査業者の役割もますます重要となり、持続可能な未来を築くための貢献が不可欠です。

甚大な災害が起きることがないように祈りつつ、今後も地質調査業界の動向や技術革新、防災活動などについて、皆さんにお伝えしていきたいと思います。引き続き、ご愛読をよろしくお願い致します。(K.T)



東地協ニュース 2024.6 第 45 号

発行・編集 一般社団法人東京都地質調査業協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-6-8 (内神田クレストビル)

TEL 03-3252-2963 FAX 03-3252-2971

<https://www.tokyo-geo.or.jp/> E-Mail info@tokyo-geo.or.jp